

令和5年第10回
教育委員会定例会教育長報告

令和5年10月23日(月)

- | | | |
|----|--------------------------------------|-------------|
| 1 | 令和5年度教育関係寄贈に対する感謝状の贈呈者一覧について | 資料1 |
| 2 | 令和5年度学校選択制申請状況(令和6年度入学)について | 資料2 |
| 3 | 第47回市立中学校総合体育大会の結果について | 資料3 |
| 4 | 令和5年度武蔵村山市立学校研究発表会について | 資料4 |
| 5 | 令和5年度授業改善推進プランについて | 資料5 |
| 6 | 第54回市民文化祭の開催について | 資料6
(別冊) |
| 7 | 令和5年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合の開催結果について | 資料7 |
| 8 | 令和5年度少年少女スポーツ大会第40回少年少女サッカー大会の開催について | 資料8 |
| 9 | 図書館除籍資料の無償配布について | 資料9 |
| 10 | その他 | |

令和 5 年度教育関係寄贈に対する感謝状の贈呈者一覧について

令和 4 年 9 月 1 日～令和 5 年 8 月 3 1 日

No.	寄 贈 者 名	品 名	寄 贈 年 月 日	備 考	所 管
1	きくらい ゆきこ 桜井 ユキ子	創作紙人形群像（百人一首絵巻）	令和 4 年 9 月 7 日		文化振興課
2	わたなべ ぜんいちろう 渡辺 善一郎	渡辺善一郎家文書	令和 4 年 9 月 26 日	歴史民俗資料館に寄贈	文化振興課
3	よしの りう 吉野 リウ	嫁入り道具 ほか	令和 5 年 3 月 23 日	歴史民俗資料館に寄贈	文化振興課
4	さした ひろあき 指田 浩明	指田家資料 一式	令和 5 年 6 月 21 日	歴史民俗資料館に寄贈	文化振興課
5	はたの きくえ 波多野 菊枝	日章旗 ほか	令和 5 年 7 月 19 日	歴史民俗資料館に寄贈	文化振興課
6	大南学園第七小学校 PTA	タブレット PC カバー ケース (62,000 円相当)	令和 5 年 7 月 1 日		小中一貫校 大南学園 第七小学校
7	第一中学校 PTA	電気冷蔵庫 (40,480 円相当)	令和 5 年 4 月 12 日		第一中学校

令和5年度学校選択制申請状況（令和6年度入学）について

申請期間：令和5年9月1日～令和5年9月30日

令和5年9月30日現在

(単位：人)

○転入・転出状況

指定校	選択校 第一中学校	村山学園 第二中学校	第三中学校	大南学園 第四中学校	第五中学校	転出計
第一中学校		0	14	3	3	20
村山学園 第二中学校	0		4	0	0	4
第三中学校	1	0		3	0	4
大南学園 第四中学校	0	0	3		0	3
第五中学校	41	1	1	0		43
転入計	42	1	22	6	3	74

○主な理由

理由	友人関係	部活動	通学距離	兄弟関係	その他	その他の主な理由
件数	32	17	6	9	10	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の伝統や校風 ・学校案内パンフレット ・通学路の安全

○令和6年度入学予定者数

学校名	第一中学校	村山学園 第二中学校	第三中学校	大南学園 第四中学校	第五中学校	計
人数	190	52	104	103	187	636
クラス数予定	6	2	3	3	6	20
(令和5年度クラス数)	(6)	(2)	(3)	(3)	(5)	(19)

令和5年度第47回中学校総合体育大会結果

1 大会期間 令和5年7月15日(土)～令和5年9月10日(日)

2 種目 7種目 参加人数 561人

種目		大会日程	参加人数等	試合形式	
1	ソフトテニス	男子	8月4日(金)	11人	ダブルス戦 予選リーグ戦 決勝トーナメント戦
		女子	7月29日(土)	15人	
2	バスケットボール	男子	9月10日(日)	各5チーム 134人	リーグ戦
		女子	9月3日(日)	各5チーム 131人	リーグ戦
3	サッカー	3年生	7月15日(土)	37人	3年生の部 トーナメント戦
		2年生	9月2日(土)		2年生の部 トーナメント戦
4	野球	—	8月22日(火) ～23日(水)	3チーム 55人	リーグ戦
5	バドミントン	男子	7月17日(月)	32人	ダブルス・シングルス 予選リーグ戦 決勝トーナメント戦
		女子		55人	
6	剣道	男子	7月15日(土)	7人	個人トーナメント戦
		女子		11人	個人トーナメント戦
7	卓球	男子	7月16日(日)	8チーム 73人	団体トーナメント戦 個人トーナメント戦 (ただし女子(個人)はグループリーグ対戦後、 トーナメント)
		女子			

3 種目別成績一覧(裏面)

令和5年度 中学校総合体育大会(第47回)成績

種 目		優勝	準優勝	第三位	会 場
ソフトテニス	男子ダブルス	村山学園	村山学園	五中	村山学園テニスコート
	女子ダブルス	村山学園	村山学園	五中	
バスケットボール	男 子	五中	村山学園	三中	村山学園体育館
	女 子	一中	三中	大南学園	
サ ッ カ ー	3 年	一中	五中	三中・大南学園 合同	大南学園第四中学校校庭
	2 年	三中・大南学園 合同	一中	五中	
野 球		五中	村山学園・三中・大南学園 合同	一中	第一中学校校庭
バドミントン	男子シングルス	三中	三中	三中	村山学園体育館
	女子シングルス	三中	三中	三中	
	男子ダブルス	三中	三中	三中	
	女子ダブルス	三中	三中	村山学園	
剣 道	個人(男子)	村山学園	一中	一中 大南学園	大南学園第四中学校武道場
	個人(女子)	一中	一中	一中 大南学園	
卓 球	団体(男子)	一中A	大南学園B	五中A	総合体育館
	団体(女子)	大南学園A	大南学園C	五中	
	1年シングルス男	大南学園	大南学園	大南学園 五中	
	2・3年シングルス男	一中	一中	一中 一中	
	シングルス女子	大南学園	大南学園	大南学園 五中	

令和5年度武蔵村山市立学校研究発表会について

令和5年10月1日現在

研究指定	発表校	日時	研究主題	講師	発表内容
【都】 令和4・5年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校	雷塚小学校	令和5年 12月15日(金) 13時20分から 16時00分まで	自分と共に 人を大切にできる児童の育成	聖徳大学教授 染谷 由之 先生	授業公開及び講師講演
【市】 令和4・5年度特色ある学校づくり推進校	小中一貫校 大南学園 第四中学校	令和6年 1月18日(木) 14時30分から 16時00分まで	不登校生徒の未然防止と支援	国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導 研究センター統括研究官 高橋 典久 先生	研究発表及び講師講演
【市】 令和4・5年度特色ある学校づくり推進校	小中一貫校 大南学園 第七小学校	令和6年 2月22日(木) 13時45分から 16時00分まで	継続的な授業研究による 教師一人一人の授業力の向上 ～児童の課題に着目し、その改善・ 克服に資する学習指導の工夫を通し て～	明星大学特任教授 相原 雄三 先生 他6名	授業公開及び講師による 指導・助言



令和5年10月23日
武蔵村山市教育委員会



— 目次 —

1	第一小学校	2
2	第二小学校	6
3	第三小学校	8
4	第八小学校	10
5	第九小学校	12
6	第十小学校	14
7	雷塚小学校	16
8	村山学園	20
9	大南学園第七小学校	26
10	大南学園第四中学校	28
11	第一中学校	30
12	第三中学校	33
13	第五中学校	35

授業改善推進プランの見方

令和5年度授業改善推進プラン 【国語、算数・数学】 学校名 <u>武蔵村山市立〇〇学校</u>				
② 1年	③ 【目指す授業】	①		
	○	④ 【児童・生徒の実態・課題】	○	
			⑤ 【具体的な手だて】	
		⑥ 【評価指標】	6月	目標値
		%	%	2月
		%	%	%
	⑧ 【評価】	⑦ 【成果と課題】		
	○			
	○			

- ① 教科名…国語、算数・数学を作成対象教科としている。
- ② 学年…小学校第4学年から第6学年、中学校第1学年から第3学年、中学部第7学年から第9学年までを作成対象学年としている。
- ③ 目指す授業…各校で定めた改善の方向性を示している。
- ④ 児童・生徒の実態・課題…各校の児童・生徒の状態、授業での様子等について記載している。
- ⑤ 具体的な手だて…目指す授業を実現するために必要な手だてを記載している。
- ⑥ 評価指標…評価指標は令和5年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査（東京都教育委員会）」（都調査）の質問項目を引用している。
- ⑦ 数値…数値は都調査の結果の肯定的評価（「1」または「2」と回答）の合計の割合とする。2月の数値は、各校で2月中旬までに生徒向けにアンケートを実施し、肯定的評価（「1」または「2」と回答）を集計した結果とする。（現時点未入力）
- ⑧ 評価…目標達成は「A」、目標未達成だが、数値が改善した場合は「B」、数値の改善が見られなかった場合は「C」で示すこととする。（現時点未入力）

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第一小学校

4年	【目指す授業】	言葉を手がかりに正しく読み取るとともに、自分の考えを言葉を選びながら根拠とともに表現できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○読み取るための技能や、読み深めるための視点の捉え方に課題がある。 ○読み取ったこと、考えたことなどを自分の言葉で表現できない児童が多い。		○自分の感じたことや考えたことを、小グループで交流してから学級全体で共有をする。 ○接続詞、順序を表す言葉、問い、答え等に注目し、線を引かせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	文章を理解するために大切だと思った部分に線を引きながら読んでいる。		64%	70%	%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		64%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

5年	【目指す授業】	学習内容を確実におさえ、問題の意図をきちんと読み取りながら考えを表現する授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字の読み書きの習得率が低く、習得するための学習が習慣化できていない。 ○問題文等で聞かれている内容やその意図を理解できていない。		○文章を書く際には、既習の漢字を使うことを継続して指導し、漢字のもつ意味を考えて使う習慣付けをする。 ○大切な部分や問われている部分などに線を引く習慣を付け、問題の意図を読み取る習慣付けをする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。		53%	70%	%
	文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。		64%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

6年	【目指す授業】	知識・技能を使って、自分の思いを表現する授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○知識の習得の習慣化やそれを用いて、表現することや粘り強く学習に取り組む姿勢に課題がある。また、文章作成において始めと終わりの流れを意識することや自分の考えを明確に書くことに課題がある。		○自分が書いた文章を読み返し、分かりやすい表現になるように書き直す。 ○他の人が書いた文章のよい点を取り入れ共有する。 ○粘り強く取り組んでいる児童を価値付け、学級に広げていく。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	自分が書いた文章を読み返し、分かりやすい表現になるように書き直している。		74%	80%	%
	他の人が書いた文章のよい点を取り入れて書くようにしている。		74%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立第一小学校

4年	【目指す授業】	児童が納得しながら、自ら課題を解決する授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○加減乗除の計算について、理解が不足している児童が多い。 ○位取りなど基礎的な事項を覚えていない児童が多い。		○毎時間授業の導入段階で既習事項を丁寧に確認する。 ○復習する機会を増やす。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数で学習する言葉や公式は見なくても言えるようにしている。		72%	80%	%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

5年	【目指す授業】	既習事項を生かして、学習を進めることができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○4年生までの四則計算は比較的身につけているが、5年生で学習した小数のわり算については、課題のある児童が見られた。		○既習事項を確認するとともに、新しく学習すべきことは何か、意識的に確認するようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数の授業はどれくらい得意ですか。		70%	75%	%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

6年	【目指す授業】	何を求めるのかを文字から意識しながら学習に取り組む授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○計算力についてはついてきたが、文章問題で答えるべきことは何かを意識せず、単位を付けない、間違えてつける児童がいる。		○課題に取り組む際には、分かっていることは何か、求めるべきことは何かを整理してから問題に取り組ませるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	分かっていることと求めることを考えて問題に取り組んでいる。		78%	80%	%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立第一小学校 杉の子学級（知的障害特別支援学級）

目指す授業		<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童自身が達成感を感じられるように、学校生活支援シートや個別指導計画に基づき、児童一人一人の特性や段階に合った学習を計画する。 ○ 全体指導と個別指導の時間配分を工夫し、学び合いと個別の学力の充実を図る。 	
教科	① 児童の実態・課題	② 授業改善の取組	③ 取組結果
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年、中学年は、「聞く」活動について、力が定着しにくい。 ・「読む」「書く」活動について、発達段階の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くために指導者や発表者に注目させる、目を合わせるなどの指導を、杉の子学級担任が共通理解し、低学年から積み重ねていくようにする。 ・同じ教材を使った一斉授業では、個別のワークシートを工夫し、興味をもって取り組めるようにしていく。「書く」学習については、個別指導の時間を充実させる。 	
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・学年内でも個々の学力差が大きい。 ・数の概念やかけ算、わり算等の理解が難しい。 ・理解の定着に時間がかかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟別グループでの学習を行う。（3～6年） ・具体物や半具体物の操作を取り入れ、活動を通して四則計算の理解につなげる。 ・スモールステップで取り組む。前段階の学習内容を確認しながら理解定着につなげる。 	

令和5年度授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立第一小学校 さくら学級（自閉症・情緒障害特別支援学級）

<p>目指す授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個々の課題に応じた、自立活動を行う。 ○ 各教科については通常学級の学習に準ずるが、児童の実態によっては下学年の学習を行う。 ○ 家庭と面談などを通して学習指導について共通理解する。 		
<p>教科</p>	<p>① 児童の実態・課題</p>	<p>② 授業改善の取組</p>	<p>③ 取組結果</p>
<p>国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひらがな、カタカナが定着しておらず、正しく書くことが難しい児童がいる。 ・ 各学年に配当されている漢字の学習ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の学習を徹底し、できていないところを繰り返し指導する。日記や作文等を書くことで文字を書く機会を意図的に作る。 ・ 個別の実態に応じて、書くことより、読むことを重視し、学年に応じた漢字学習を行う。 ・ 音読をしたり、読書をしたりする機会を増やす。 	
<p>算数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り上がり、繰り下がり、九九など基礎的な計算が定着していない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中や自立活動の時間に計算問題に取り組む機会を設ける。 ・ タブレット端末を活用し、自己の課題に合った問題の習熟を図る。 	

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第二小学校

4年	【目指す授業】	自分と友達の考えを大切にすることができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字の練習には取り組んでいるが、漢字の部首や意味まで理解していない。 ○友達の話を書くときに、メモ等を取らずにそのまま聞いている。		○漢字スキルを使って部首や意味なども理解し、文や文章の中でも使えるようにする。 ○「聞き取りメモの工夫」などの学習を振り返り、メモを取る習慣を付ける。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	漢字の部首の意味も考えながら覚えている。		51.6%	60%	%
	他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。		51.5%	60%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

5年	【目指す授業】	構成を意識して読み取り、適切にまとめることができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○適切な言葉を用いて、ポイントを押さえながら、話したり書いたりすることが課題である。 ○登場人物の心情や文章構成、文章の要点を読み取る力が課題である。		○文章を推敲する機会を多く設定し、段落分けや始め・中・終わりのまとまりを意識して書けるようにする。 ○イメージマップや文章構成図などを発展的・段階的に取り入れ、段落相互の関係を読み取らせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。		44%	50%	%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		60%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

6年	【目指す授業】	文章内容を理解し、考えたことを文章や対話で説明する授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字を覚えるだけになっており、部首や意味まで考えられていない。 ○文章中の大切な言葉に着目して内容理解し、考えたことを説明したり話し合うことに課題がある。		○漢字ドリルや教科書単元を活用して、部首や意味なども理解する。また、既習漢字との関連を図りして、漢字に興味をもたせる。 ○場面分けや段落分けの際に根拠をもたせて読ませたり、段落の関係を読み取らせたりする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	漢字の部首の意味も考えながら覚えている。		50%	70%	%
	文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。		59.1%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

令和5年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立第二小学校

4年	【目指す授業】	児童が様々な方法で自分の考えを表現することができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○間違えた問題をそのままに置いて、十分に理解できてない。 ○立式や答えは出せるが、根拠となる図や表、グラフに表すことができていない。		○間違えた問題をやり直す時間を確保する。練習問題に取り組ませる等、反復練習を重ねる。 ○日頃の授業から自分の考えを図や表、グラフ、言葉などで説明する習慣を付ける。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		56.6%	65%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		63.9%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

5年	【目指す授業】	問題解決の際に自分の考えを表現できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○問題解決の方法を、線分図や対応図などの具体物で表現することが課題である。 ○四則計算が、速く正確にできるようにする。		○問題解決の方法を図や数直線、グラフ線分図、対応図等で表現し、単位や情報の整理をする時間や説明し合う時間を設けるようにする。 ○ドリル、練習プリントなどに数多く取り組ませ、補習学習を中心に、基本的な計算を反復練習させる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数で学習する言葉や公式は、見なくても言えるようにしている。		64%	70%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		56%	60%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

6年	【目指す授業】	問題を確実に把握し、自分の考えたことを伝えたり多様な見方で考えたりする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○問題や文章題を把握し、求めることを捉えて問題に取り組むことに課題がある。 ○まちがえた場合は、どこでまちがえたのかを分析できず、自主的に復習することができない。		○問題や文章題を読み、場面や状況を友達に説明したり友達の考えを聞いたりして確実に理解できるようにする。 ○テストやドリルに取り組んだ後、なぜまちがえたのかを考える時間を設けて、復習するように促す。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。		62.1%	70%	%
	テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		59.1%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第三小学校

4年	【目指す授業】	児童が高い意欲をもち、進んで学習に取り組む授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○授業やノート、日常会話の中で熟語を使ったりしている児童が少ない。 ○新出漢字の練習量に差があったり、ノートやワークシートの既習漢字を使う児童に差があったりする。		○タブレットをいつでも使えるように手の届くところに置いておくようにする。また、廊下に辞書を常時置いておくようにする。 ○毎日、家庭学習用の課題を与える。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている。		47.3%	60%	%
	テストやドリルでまちがえた漢字を選んで、特に練習している。		64.2%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

5年	【目指す授業】	話の内容を理解し、理解したことや自分の考えを表現できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○話の内容を理解できない、イメージできない児童が多い。 ○自分の考えを他者に伝えることが苦手な児童が多い。		○既習事項の振り返りをしながら、テンポのよい授業で集中力を持続出来るようにする。 ○グループ等の少人数で考えを述べる場面やタブレットで考えを共有する場面を作る。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	国語の学習はどのくらい得意ですか。		63%	70%	%
	自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。		53%	65%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

6年	【目指す授業】	45分間、児童の学ぶ意欲が継続する授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○単元や領域の好き嫌いにより学習意欲の浮き沈みが激しい。 ○書くことへの抵抗感が強く、「何文字？何行？」が先行してしまう。		○導入時に児童のやる気を引き出す、ことわざや四字熟語のクイズを設定する。 ○学校行事や他教科と結び付けて単元を構成し、書くことが必然になるような課題を設定する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	国語の学習はどのくらい得意ですか。		47%	60%	%
	自分が書いた文章を読み返し、分かりやすい表現になるように書き直している。		67%	75%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

令和5年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立第三小学校

4年	【目指す授業】	算数が楽しい、問題を解くことが楽しいと感じられる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○自分の考えを説明できる児童は多いが、算数で学習した言葉や公式を使って端的に説明できる児童は少ない。		○朝学習や、家庭学習等の時間で東京ベーシックドリル（自分の苦手とする領域）に取り組む。 ○既習事項を振り返られる時間を授業導入で設定する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数で学習する言葉や公式は、見なくても言えるようにしている。		64.1%	75%	%
	テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		56.6%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

5年	【目指す授業】	課題解決に向けて粘り強く思考する姿が見られる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○解いてみたい、できそうという期待がある課題を前にすると粘り強く解決に向けて思考する姿が見られる。 ○難しそう、大変そうという問題になると意欲が下がる光景が見られる。		○課題提示で児童の興味を引き出すしかけを行う。 ⇒3ヒントクイズや〇×クイズなど ○解決につながるヒントを児童から引き出す。 ⇒ヒントに繋がるつぶやきを拾って共有		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数で学習する言葉や公式は、見なくても言えるようにしている。		55.4%	70%	%
	算数で学習した言葉を使って、自分の考えを説明している。		61.5%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

6年	【目指す授業】	自分の考えを図や表、言葉を使って論理的に説明できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○自分の考えをノートに書くことに抵抗は少なく、しっかり思考することができる。 ⇒根拠を明確に説明できる児童はまだ多くない。		○その時間内に身に付けたい力、知識を明確にして、全体で共有する。 ⇒まとめ時にはキーワードを提示して言葉にこだわりをもてるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数で学習した言葉を使って、自分の考えを説明している。		58.8%	70%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		44.2%	60%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第八小学校

4年	【目指す授業】	自分の考えを言語化できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字の習得が十分でない。 ○物語文・説明的文章への読解力が十分でない。 ○読書量が少ない。		○書き順の空書きや、熟語の音読に取り組みさせる。 ○場面と場面を比べて読んだり、感想を伝え合ったりする授業を展開する。 ○読書旬間や図書時間を有効に活用する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	国語の授業の内容はよく分かる。どちらかといえば分かる。		91.6%	92%	%
	国語の学習は得意。どちらかといえば得意。		75.9%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

5年	【目指す授業】	自分の考えを一人一人がもち、友達と交流し合える授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字の習得が十分でない。 ○物語文への興味関心は強いが、説明的文章への読解力が十分でない。 ○読書量が少ない。		○漢字ドリルの音読を取り入れ、まず漢字を読み慣れるようにする。 ○叙述を根拠に検討し合う授業を展開する。 ○図書の時間を有効に活用する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	国語の授業の内容はよく分かる。どちらかといえば分かる。		86%	90%	%
	国語の学習は得意。どちらかといえば得意。		55.3%	60%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

6年	【目指す授業】	自分の考えを論理的に説明し、他者との交流から考えを深化できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○読解力が低く、自分の考えをもち、表現することに課題がある。 ○他者の考えと比較して、自身に生かすことに課題がある。		○叙述を基に、情報と情報を関連付けて読み取れるようにする。辞書や読書活動を活用して語彙を増やすなどして、表現方法を身につけさせる。 ○他者との比較をする授業展開をする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	国語の授業の内容はよく分かる。		26.2%	35%	%
	国語の学習は得意。どちらかといえば得意。		63%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

令和5年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立第八小学校

4年	【目指す授業】	児童のつながりを大切にし、分かったことを伝える授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○基礎的な計算技能が定着していない。 ○一単位時間の学習内容の定着が十分でない。		○習熟タイムや放課後の補習教室を活用して、既習事項の定着を図る。 ○授業の最後に適用問題を取り入れ、一単位時間の学習内容の定着を図る。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数の授業の内容はよく分かる。どちらかといえば分かる。		84.2%	90%	%
	算数の学習は得意。どちらかといえば得意。		69.4%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

5年	【目指す授業】	児童同士のつながりを大切にし、「できた」と実感できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○基礎的な計算技能が定着していない。 ○一単位時間の学習内容の定着が十分でない。		○習熟タイムを利用して、既習事項の定着をはかる。 ○授業の最後に適用問題を取り入れ、一単位時間の学習内容の定着を図る。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数の授業の内容はよく分かる。どちらかといえば分かる。		81.6%	85%	%
	算数の学習は得意。どちらかといえば得意。		63.2%	65%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

6年	【目指す授業】	既習を結び付け、分かったことを使い、自らの思考を広げられる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○既習の内容が生かされていない。 ○計算ミスが多い。 ○問題→式や問題→図などのつながりの理解が低い。		○既習を想起させながらの授業を行う。 ○習熟タイム（東京ベーシックドリル）を活用して繰り返し練習させる。 ○問題場面が式や図と関連付けられているかを確認する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数の授業の内容はよく分かる。		35.9%	50%	%
	算数の学習は得意。どちらかといえば得意。		55.4%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第九小学校

4年	【目指す授業】	確かな基礎・基本をもとに、自ら問いを掴み、協働して解決しようとする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○発表や意見交換などに意欲的な児童が多い。 ○家庭学習が習慣化しておらず、漢字などの基礎・基本が定着していない児童が多い。		○話し合いなど合意形成を行う機会を一層増やす。 ○学習活動の意味や効果をつかませ、目的意識をもって習熟のための練習を行えるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	5(3)似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。		73.9%	85%	%
	6(6)文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		65.2%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

5年	【目指す授業】	確かな基礎・基本をもとに、自ら問いを掴み、協働して解決しようとする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○基礎・基本の定着に大きな課題がある児童が多い。 ○見直しをしたり、他者の意見を取り入れたりして、考えや意見をよりよく変えていくことが難しい。		○漢字や読み取りをする際の基本的な技能だけでなく、文章の見直しや書き直しの方法などを細かく指導し、定着を図る。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	5(3)似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。		47%	65%	%
	6(4)他の人が書いた文章のよい点を取り入れて書くようにしている。		55.9%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

6年	【目指す授業】	確かな基礎・基本をもとに、自ら問いを掴み、協働して解決しようとする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○学習における自己調整力が低い。 ○発表や話し合いに苦手意識をもつ児童が多く、考えをもてていても伝えられない児童が多い。		○苦手なことや足りないことなど自分の現状を捉え、それをもとに学習を進める経験を増やす。 ○発表や交流の機会を多く設定する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	5(4)テストやドリルでまちがえたときは、まちがえた漢字を選んで、特に練習している。		57.8%	75%	%
	6(6)文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		55.6%	75%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

令和5年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立第九小学校

4年	【目指す授業】	確かな基礎・基本をもとに、自ら問いを掴み、協働して解決しようとする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○家庭学習の習慣など、習熟のための取り組みに個人差が大きい。 ○問いの内容が理解できていない児童が見られる。		○目的意識をもって習熟のための練習に取り組めるよう意識付けを行う。 ○読み取るための技能の定着を図る。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	7(4)テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		52.1%	70%	%
	9(2)分かっていることと求めることを考えて問題に取り組んでいる。		67.4%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

5年	【目指す授業】	確かな基礎・基本をもとに、自ら問いを掴み、協働して解決しようとする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○基礎・基本の計算力に課題のある児童が多い。 ○なぜ間違えたのか、どこが苦手なのかが分からない児童が多い。		○家庭学習の習慣化を含めて、習熟のための練習を繰り返す。 ○学習の振り返りを適切に行う。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	9(3)問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		38.3%	60%	%
	9(5)まちがえた文章問題は、どこでまちがえたのかを考えている。		58.8%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

6年	【目指す授業】	確かな基礎・基本をもとに、自ら問いを掴み、協働して解決しようとする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○学習における自己調整力が低い。 ○計算方法など思考力が求められる発表や説明に苦手意識をもつ児童が多い。		○苦手なことや足りないことなど自分の現状を捉え、それをもとに学習を進める経験を増やす。 ○発表や互いに説明し合う機会を多く設定する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	7(4)テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		40%	70%	%
	8(3)算数で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。		60%	75%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第十小学校

4 年	【目指す授業】	誰もが「わかった」と実感できる授業			
		児童の実態・課題	具体的な手だて		
		○既習済みの漢字が読めない、書けない。 ○語彙力が低い。 ○作文において、中学年として適切な文章が書けない。	○ジャーナルでの振り返りにおいて、なるべく既習の漢字を使うことや、文章構成力をつける。 ○国語辞典で分からない言葉を調べる習慣をつける。		
		評価指標	6月	目標値	2月
		文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。	24.6%	45%	%
		文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。	18.8%	30%	%
		【評価】	成果と課題		
		○ ○			

5 年	【目指す授業】	誰もが「わかった」と実感できる授業			
		児童の実態・課題	具体的な手だて		
		○学習したことが活用できていない。 ○自分に合った学習方法が分かっていない。 ○語彙力が不足しており、文章の理解ができていない。単語だけで会話をする児童が多い。 ○人の話を最後まで聞くことや、理解する力が乏しい。	○ノートを取るときには、習った漢字を使うよう指導し、辞書を引く習慣をつける。 ○ふりかえりの視点をもたせ、学習方法を選択できるようにする。 ○ブッククラブやビブリオバトルなどを通して、本に触れる機会を増やす。 ○発表活動の後には、互いにフィードバックし合う活動を設定し、相手意識をもって聞くことができるようにする。		
		評価指標	6月	目標値	2月
		国語の授業の内容はどのくらい分かりますか。	32.0%	40.0%	%
		人に話を聞くとときは、メモを取って理解するようにする。	20.0%	30.0%	%
		【評価】	成果と課題		
		○ ○			

6 年	【目指す授業】	誰もが「わかった」と実感できる授業			
		児童の実態・課題	具体的な手だて		
		○漢字学習の意欲がある。 ○語彙が乏しい。 ○学習習慣が身に付いていない。	○漢字等の学習を随時行う。 ○言葉の意味を説明する。 ○家庭学習を継続的に取り組ませる。		
		評価指標	6月	目標値	2月
		確実にできるようになるまで、くり返し練習している。	8.9%	50%	%
		文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。	13.3%	65%	%
		【評価】	成果と課題		

令和5年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立第十小学校

4年	【目指す授業】	誰もが「わかった」と実感できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○四則計算が身に付いてない。 ○自分の考えがもてない児童が多い。 ○立式に必要な数字や言葉を理解していない。		○かけ算九九の定着の為に、毎時間に数分の反復学習を行う。 ○友達の考えの真似から始めて、自分の考えをもてるようにする。 ○立式に必要な言葉集めをする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	(3) 算数で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。		27.5%	45%	%
	(2) 分かっていることと求めることを考えて問題に取り組んでいる。		23.2%	35%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

5年	【目指す授業】	誰もが「わかった」と実感できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○知識の定着が浅い。 ○文章問題をよく読まない。 ○立式に必要な数字や言葉を理解していない。		○授業の開始5分間で四則計算に取り組む。 ○eライブラリを活用し、全学年の内容を振り返る。 ○文章を絵や図にする力を付けさせる為に、時間を設ける。ジェスチャーで表現する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数の授業の内容はどのくらい分かりますか。		45.3%	55.0%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		26.7%	35.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

6年	【目指す授業】	誰もが「わかった」と実感できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○学習習慣が身に付いていない。 ○基礎・基本となる知識が不足している。		○計算問題に繰り返し取り組ませる。 ○既習事項も分かるまで繰り返し指導する。 ○家庭学習を継続的に取り組ませる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		15.6%	65%	%
	確実にできるようになるまで、くり返し練習している。		8.9%	50%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立雷塚小学校

4年	【目指す授業】	漢字の学習を取り入れ、文章理解に重点的に取り組む授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○似た意味・反対の意味の漢字、使われている熟語を確かめながら覚える必要がある。 ○文章を分かりやすい表現になるように書き直すことが苦手な児童が少なくない。		○朝学習や国語の授業の終わりなどに、既習漢字、熟語を復習する時間を多く設ける。 ○要点を押さえ、伝えたいことを端的に書くことや書いた文章を読み返すことを日頃から指導する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	似た意味・反対の意味の漢字や熟語について理解している。		51.3%	80%	%
	分かりやすい文章に書き直している。		62.1%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

5年	【目指す授業】	部首に気を付けたり、間違えた漢字を復習したりすることを取り入れた授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字の部首の意味を考えながら漢字を覚えているという児童の割合が少ない。 ○間違えた漢字を復習して覚えようとする児童の割合が少ない。		○漢字の学習の際には、部首と、部首のもつ意味を意識させるようにして、同じ部首の漢字を集めや部首のもつ意味を理解する活動などを多く取り入れていく。 ○間違いやすい漢字を取り上げ、漢字指導を行う。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	漢字の部首や部首のもつ意味を理解している。		62%	80%	%
	間違えた漢字を復習しようとしている。		67%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

6年	【目指す授業】	漢字の反復学習を行い、互いの考えが交流できる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字の読み書きを確実に身に付けていく必要がある。 ○自分の考えをもち、相手に伝えることが苦手な児童が少なくない。		○朝学習や家庭学習など、継続的に既習漢字の練習する時間を設ける。 ○文章で理解したことなど、教科書に線を引いたり、他の人の考えを書き写したりして、自分の考えをもてるようにする。また、意見交流の場を多く設ける。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルで間違えた漢字を選んで特に練習している。		65.4%	80%	%
	文章を読んで、理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		59.6%	75%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

令和5年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立雷塚小学校

4年	【目指す授業】	正確に計算するとともに、計算の仕方を自分で考えられるようにする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○速く計算をしようとして、ケアレスミスをする児童が見られる。 ○計算する中で、計算の仕方を考えられても、言葉で説明することが苦手な児童が多い。		○確実に途中式を書かせて正確に計算させるとともに、たしかめ算を行わせる。 ○問題を解くときにペア学習で計算の仕方を話し合わせ、ノートに記述させる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	答えだけでなく、途中の計算も書いている。		75.6%	90%	%
	算数で学習した言葉を使って自分の考えを説明している。		75.6%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

5年	【目指す授業】	既習事項を活かして、文章題を正確に読み取れるようにする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○既習事項を活かして、問題に取り組める児童が少ない。 ○文章題を読み取り、問題に沿って考えられる児童が少ない。		○既習事項の確認を導入で行い、それを授業で活用させる。 ○文章題の「分かっていること」や「聞かれていること」を全体で確認し、図等で表しながら考えさせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	前に同じような問題をやったことがあるかや、今まで学習した問題とどこが違うか考えている。		69.5%	80%	%
	分かっていることと求めていることを考えて問題に取り組んでいる。		77.8%	85%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

6年	【目指す授業】	正確に計算するとともに、計算の仕方を自分で考えられるようにする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○間違えた問題をそのままにしてしまう児童が少ない。 ○計算する中で、計算の仕方を考えられても、言葉で説明することが苦手な児童が多い。		○答え合わせをした後に、直しをする時間を設け、分からなかった所を確認していく。 ○問題を解くときにペア学習で計算の仕方を話し合わせ、ノートに記述させる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	間違えた計算問題は、どこで間違えたのかを考えている。		78.8%	85%	%
	算数で学習した言葉を使って自分の考えを説明している。		69.2%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

令和5年度授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立雷塚小学校 ひまわり学級（知的障害特別支援学級）

<p>目指す授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が自信をもって取り組める授業 (児童の実態に合わせた課題の設定、個に応じた支援) ○ 視覚的に分かりやすい授業 (ICT機器の活用、具体物の提示) ○ 児童の学びが深まる授業 (体験的な学習活動、振り返りの充実、具体物を用いた教材の工夫) 		
教科	① 児童の実態・課題	② 授業改善の取組	③ 取組結果
<p>国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙が少ないことや、単語を聞いて実物を想起することが難しい。 ・話を聞いたり文章を読んだりしたことから内容をイメージすることが難しい。 ・集中して話を聞くことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しりとりやカルタなどの言葉遊びを通して、語彙の獲得を目指す。 ・短い文章を正しく聞き取らせる。また、文章の様子を表した場面絵などを用いて、内容を理解する活動に取り組ませる。 ・言葉だけでなく、絵などの掲示物を取り入れ説明する。端的に説明したり、課題に取り組む時間を短く区切ったりしながら、集中して取り組む時間を設定する。 	
<p>算数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題を読んで立式し、正確な答えを導き出すことが難しい。 ・数の概念の理解が難しい。 ・既習事項がなかなか定着しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題の場面を具体的に可視化し、内容をとらえさせる。具体物や半具体物の操作を通して、正しく計算ができるようにする。 ・具体物を用いた学習活動を設定する。 ・既習事項の定着を図るために、掲示物を工夫したり、個別の課題を設定したりしながら計画的に繰り返し学習する時間を設ける。 	

令和5年度 授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立雷塚小学校 なのはな学級（自閉症・情緒障害特別支援学級）

目指す授業		<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が自信をもって取り組める授業（児童に寄り添う言葉掛けや支援） ○ 児童が分かりやすい授業（学習内容の視覚化、具体物を用いた教材、教具の活用） ○ 児童がすすんで取り組む授業（集中して学習に取り組める授業、基礎・基本を重視した授業） 		
教科	① 児童の実態・課題	② 授業改善の取組	③ 取組結果	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単語を正しく読む力 ・ 拗音、長音が定着していない。 ○ 集中して話を聞く力 ・ 自分のことを話したい思いが強く、相手の話が終わるまで待てない。聞けない。 ○ 文字や漢字を正しく書く力 ・ 書くことに抵抗がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拗音、長音の正確な理解を促す。 ・ 特殊音節の音の動作化を行い、表記の違いに気付かせる。 ○ 最後まで話を聞く習慣を身に付ける。 ・ スリーヒントクイズや選択問題など、最後まで聞くことで答えが分かる場面を設定する。 ○ 個に応じた課題を設定する。 ・ 単語や短文から書く。なぞる、視写するなど実態に応じて書き方を選択させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拗音、長音は手を使って動作化をすることで、表記の違いに気付くことができた。音節を理解することができた。 ○ スリーヒントクイズなど楽しい学習活動を通して、集中して話を聞ける時が増えた。また、話す内容を項目立てで見通しを持たせることで、最後まで聞けるようになった。 ○ なぞる、視写する、筆順を確認するなど、実態に応じた個別の課題に取り組むことで、以前よりもすすんで書く活動に取り組めるようになった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正確に計算する力 ・ 10までの数の合成、分解や繰り上がりのある足し算、繰り下がりのあるひき算が定着していない。 ○ 問題を理解し解く力 ・ 題意を捉えて考えることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10までの合成・分解の定着 ・ 児童の実態に合う教材・教具を用いて計算をする。 ○ 繰り上がり、繰り下がりのある計算の定着 ・ 基礎計算の仕組みを視覚化し、具体物を操作しながら繰り返し学習する。 ○ 問題内容を視覚化する。 ・ 具体物、半具体物の操作、絵や図の活用、動作化等を通して考える学習を積み重ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10玉そろばんや、数カード、おはじきなど具体物や教具を操作させることで、正確に計算できるようになった。 ○ 計算の手順を示したプリントを使うことで、計算方法が少しずつ定着している。 ○ 問題にあったイラストを提示することで、問題場面の理解がすすみ、問われている内容を理解して取り組むことができた。 	

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立小中一貫校村山学園小学部

4年	【目指す授業】	・話をしっかりと聞かせ、内容を理解できるようにする授業 ・友達の良い点を見付け、自分に生かせるようにする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○話を正確に聞き取ることができず、何度も同じことを聞きに来ることがある。 ○自分の言葉で説明することに課題がある。		○授業の中でメモを取る時間を意図的に設定する。 (スピーチやビデオ、社会科見学等) ○書いた文章を友達と読み合う場を設定し、何を書けばよいか分かるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	他の人の話を聞くとときは、メモを取って理解するようにしている。		74.5%	85%	%
	他の人が書いた文章のよい点を取り入れて書くようにしている。		74.5%	85%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

5年	【目指す授業】	文章の内容が理解できるとともに、他の人に自分の考えを伝えることができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○文章の読解や問いに答えることに課題がある。 ○自分の考えや思いを分かりやすく伝えることに課題がある。		○文章の内容理解ができるように、範読を繰り返し行い、文脈にある大事なところを見付けることができるようにする。 ○ペアなどの少人数で自分の考えを伝える機会を設定する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。		60.7%	70%	%
	発表や話し合いのときは、話す内容や順序を考えてから話している。		73.3%	75%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

6年	【目指す授業】	・自分の考えを分かりやすい表現で書けるようにする授業 ・自分の考えや思いを他の人に伝え合うことができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○自分の考えや思いを分かりやすい表現で書くことに課題がある。 ○書く順序、書く筋道を考えることに課題がある。 ○自分の言葉で説明することに課題がある。		○文例等を提示し、理由を挙げながら文章を書くよう指導する。 ○意見文や感想文を書く活動を各単元で設定し、作文力の向上を図る。 ○メモを基に書いた文章を伝え合う機会を設定する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	自分が書いた文章を読み返し、分かりやすい表現になるように書き直している。		65%	75%	%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		50%	65%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立小中一貫校村山学園小学部

4年	【目指す授業】	数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能の定着を目指す授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○問題文の内容を図や表、グラフに表すことに課題がある。 ○学習内容を理解・定着しきれていない場合もそのままにしてしまう児童がいる。		○週に1回朝学習で文章問題に取り組み、図や表、グラフをかく時間を設定する。 ○テスト前に、タブレットPCやプリントなどを使って適用問題に繰り返し取り組ませる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		70.6%	80%	%
	テストやドリルでまちがえたところは、似た問題を選んで、特に練習している。		72.5%	80%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

5年	【目指す授業】	四則計算等の既習内容を活用し、答えを導き出そうとする授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○四則計算が身に付いていない児童がいる。 ○基礎・基本の定着に二極化が見られ、差が大きい。 ○文章題からの立式が苦手な児童がいる。		○毎時間の導入でタブレットPCを活用し、既習の四則計算の時間を設定する。 ○文章題の単位から、立式の仕方を考えたり内容を図や表に表したりして考えを説明する場面を設定する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	前に同じような問題をやったことがあるかや、今まで学習した問題とどこがちがうかを考えている。		76.8%	80%	%
	分かっていることと求めることを考えて問題に取り組んでいる。		69.6%	75%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

6年	【目指す授業】	計算方法や図形の公式を理解し、自分の考えを説明し合う授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○自分の考えを文章や図で説明をし、他の人に伝えることに課題がある。 ○応用・発展の問題を解くことに課題がある。		○自分の考えをペア等で伝え合う際に説明の仕方を示す。また、複数人に説明させることで、説明する機会を意図的に増やす。 ○授業の後半に基礎・基本の問題だけではなく、タブレットPCやプリントを活用し、応用・発展問題にも繰り返し取り組ませる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	算数で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。		65%	75%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		50%	65%	%
	【評価】	成果と課題			
		○ ○			

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立小中一貫校村山学園中学部

7年	【目指す授業】	基礎学力の定着と活用する力を付けられる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○小学校学習漢字が身に付いていない生徒が多数おり、漢字の読み書きに課題がある。 ○話を聞くときにメモをとる習慣が身に付いておらず、正確な聞き取りに課題がある。		○小学校1年の学習漢字から、遡って指導を毎時間行うとともに一人1台端末を使って漢字練習を行う。 ○聞き取り練習を計画的に行うとともに、授業記録のメモ状態を单元ごとに確認し、随時指導を行う。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	5(4) テストやドリルでまちがえたときは、まちがえた漢字を選んで、特に練習している。		68.6%	80%	%
	6(2) 他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。		45.7%	55%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

8年	【目指す授業】	基礎学力の定着と活用する力を付けられる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○中学校学習漢字が身に付いていない生徒が多く、漢字の読み書きに課題がある。 ○話を聞くときにメモをとる習慣が身に付いておらず、集中力の維持や正確な聞き取りに課題がある。		○中学校2年学習漢字を中心に、タブレットPCも使って中学校学習漢字の指導・練習を毎時間行う。 ○聞き取り練習を計画的に行うとともに、授業記録のメモ状態を单元ごとに確認し、随時指導を行う。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	5(4) テストやドリルでまちがえたときは、まちがえた漢字を選んで、特に練習している。		61.8%	70%	%
	6(2)他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。		76.3%	85%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

9年	【目指す授業】	基礎学力の向上と活用する力を付けられる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○入試頻出漢字が身に付いていない生徒が多数おり、漢字の読み書き・語彙数に課題がある。 ○話を聞くときにメモをとる習慣が身に付いておらず、正確な聞き取り・注意力の向上に課題がある。		○入試頻出漢字を中心に、タブレットPCも用いて、最大限可能な漢字の指導・練習を毎時間行う。 ○聞き取り練習を計画的に行うとともに、授業記録のメモ状態を单元ごとに確認し、随時指導を行う。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	5(4) テストやドリルでまちがえたときは、まちがえた漢字を選んで、特に練習している。		54.5%	60%	%
	6(2) 他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。		50%	60%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン【数学】

学校名 武蔵村山市立小中一貫校村山学園中学部

7年	【目指す授業】	基礎的・基本的な学力の向上と問題解決のための情報整理			
		生徒の実態・課題	具体的な手だて		
		○基本的な知識・技能の定着が不十分な生徒が多数いる。 ○問題文から情報を整理して立式することができず、解くことができない生徒が多数いる。	○反復演習や授業ごとに小テストを行い、計算技能を身に付ける。 ○タブレット PC を活用して、問題演習や振り返り等を行い、学習内容の定着を図る。 ○問題から得られる情報を、図や表で表して他者に説明する活動を行い、文章になる情報を整理したり、数量関係を把握したりする力を高める。		
		評価指標	6月	目標値	2月
		問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。	48.5%	60%	%
		数学で学習した言葉を使って自分の考えを説明している。	57.5%	70%	%
		【評価】	成果と課題		
		○			

8年	【目指す授業】	基礎的・基本的学力の定着と言語活動の充実			
		生徒の実態・課題	具体的な手だて		
		○基礎的な知識・技能の定着が不十分な生徒が多数いる。 ○説明の際、自分の考えを言葉で表すのが苦手な生徒が多い。	○反復演習や授業ごとに小テストを行い、計算技能を身に付ける。 ○一人1台端末を活用して、問題演習や振り返り等を行い、学習内容の定着を図る。 ○他者に説明する活動を積極的に設定するなど、言語活動を充実させ、考えを表現する力を育み、基礎的な知識・技能の定着も図る。		
		評価指標	6月	目標値	2月
		問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。	47.3%	60%	%
		数学で学習した言葉を使って自分の考えを説明している。	58.1%	70%	%
		【評価】	成果と課題		
		○			

9年	【目指す授業】	基礎的・基本的学力の定着と誤答分析の充実			
		生徒の実態・課題	具体的な手だて		
		○授業で学んだ基礎知識をその場では使えるが、反復演習をしないため、身に付かない。 ○間違えた問題や、理解が不十分なまま正解した問題を、もう一度考え直そうとする生徒が少ない。	○反復演習や授業ごとに小テストを行い、計算技能を身に付ける。 ○一人1台端末を活用して、問題演習や振り返り等を行い、学習内容の定着を図る。 ○定期考査ごとに誤答分析や解き直しを行い、自らが取り組んだ問題に対して、もう一度取り組む習慣を付ける。		
		評価指標	6月	目標値	2月
		数学で学習した言葉を使って自分の考えを説明している。	54.5%	70%	%
		問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。	52.3%	70%	%
		【評価】	成果と課題		
		○			

令和5年度授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立小中一貫校村山学園中学部 S組（知的障害特別支援学級）

<p>目指す授業</p>	<p>○既習内容を活用する活動を充実させ、学習内容を定着させる授業 ○学習内容に関する生活に即した知識を増やし、その知識の活用方法に具体的なイメージをもたせる授業</p>		
<p>教科</p>	<p>① 生徒の実態・課題</p>	<p>② 授業改善の取組</p>	<p>③ 取組結果</p>
<p>国語</p>	<p>○拗音、促音、濁音の表記や助詞の使い方が定着していない生徒がいる。 ○漢字に苦手意識のある生徒が多く、定着していない。 ○意味を知らない語彙が多く、日常生活で使用する言葉の意味を理解できないことがある。</p>	<p>○短文の作成や語彙を表記する取組を通して、拗音、促音、濁音の正しい表記の仕方や助詞の適切な使い方を身に付けさせる。 ○日常的に使用する漢字の書き取り練習を繰り返し行い、漢字を使用する意識を育てる。また、漢字の課題を宿題や長期休業中の課題にすることで、知識を定着させる。 ○ことわざや慣用句などの言葉の学習を通して、語彙の知識を定着させる。</p>	
<p>数学</p>	<p>○視覚化された内容であれば理解できても、それを応用することや、計算を実生活の場面で活用することに課題がある。 ○計算問題については自信のある生徒が多いが、文章題などの理解が難しい生徒が多い。 ○小数、分数の計算など、小学校の学習内容に不安をもつ生徒が多い。</p>	<p>○日常生活の場面を想定した問題に取り組みせ、ロールプレイ形式を取り入れて学習させる。 ○かけ算表や電卓など、個の学習状況に応じて、活用する手だてを学ばせる。 ○タブレット PC を活用し、小数や分数の仕組みを視覚的に示したり、計算パズル等に取り組みせたりすることで、楽しんで学習させる。 ○個の学習状況に応じて段階的にプリントを用意し、基礎的な計算力を身に付けさせる。</p>	

令和5年度授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立小中一貫校村山学園中学部（自閉症・情緒障害特別支援学級）

<p>目指す授業</p>	<p>○基礎・基本を定着させる授業 ○主体的に学ぶ姿勢を育て、幅広く知識・技能を身に付ける意欲を引き出すとともに、思考・判断・表現する力を育てる授業</p>		
<p>教科</p>	<p>① 生徒の実態・課題</p>	<p>② 授業改善の取組</p>	<p>③ 取組結果</p>
<p>国語</p>	<p>○漢字の課題を通して漢字を書いて覚えようとする姿勢や習慣は定着しているが、覚えた漢字を学習や日常生活に生かす意識が高まっていない。 ○話すことや書くことにおいて表現しようとする意欲は高いが、スキルが身に付けていない。</p>	<p>○毎授業での漢字学習の取組に加え、単元ごとに漢字テストを実施し、覚えた漢字をアウトプットする回数を確保する。また、ワークシートや作文課題では、漢字を活用して書くよう意識付けを行う。 ○互いのスピーチや作文を評価しあうことにより、分かりやすい表現を考える視点を身に付けさせる。 ○スピーチ原稿や長い文章を書く取組では、推敲して何度でも書き直せるよう、タブレット PC を使用して文章を書かせる。</p>	
<p>数学</p>	<p>○計算問題については自信のある生徒が多いが、文章題などに不安のある生徒が多い。 ○計算方法については理解できても、複数の種類の問題を見て、正しい計算方法を選択することに課題がある。 ○学習内容に難しさを感じると、集中して取り組めないことがある。</p>	<p>○個の学習状況に応じて難易度の異なるプリントを段階的に用意し、繰り返し取り組ませることで、基礎的な計算力や応用力を身に付けさせる。 ○1種類の計算を続けて取り組むだけではなく、複数の計算を意図的に混ぜて取り組ませる。 ○基礎的な計算から段階的に学ばせ、スモールステップで達成感を感じさせながら学ばせる。</p>	

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校

4年	【目指す授業】	学び方を知ること、主体的に学習に取り組む力を伸ばすことができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○書いてあることを基に読み取ることが苦手である。 ○聞いたことを正しく理解することが苦手である。		○音読に取り組む。人物の気持ちや場面の様子を捉えられるよう、話し合い、考えを共有する。 ○話し合い活動では、その目的を理解させたうえで、聞いて理解する力を高められるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている。		61.8%	70.0%	%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		63.8%	70.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

5年	【目指す授業】	学び方を知ること、主体的に学習に取り組む力を伸ばすことができる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○文章の読解力に差があり、文脈を正確に読み取ることが難しい場面が多くある。 ○聞いたことを正しく理解することが苦手である。		○文章の大事なところをどのように読み取っていけば良いかを具体的に指導する。 ○話し合い活動などを通して、聞いて理解する力を高められるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。		53.6%	60.0%	%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		50.0%	55.5%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

6年	【目指す授業】	学び合いで自分の考えを深め、表現する授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○文章を正しく読みとれず、要点をおさえたり要旨をまとめたりするのが難しい児童が多い。 ○自分の意見に自信がなく、他者に伝えるのに苦手意識がある。		○文章の構成を意識し、キーワードとなる語を見つけて読むなど、読む際の視点を明確にする。 ○学び合いで意見交換をする場を意識的に設け、自信をもつ。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。		51.7%	60.0%	%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		48.3%	55.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン【算数】

学校名 武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校

4年	【目指す授業】	達成感を感じられる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○ノートの記入に時間を要し、考えを深めたり、練習問題に取り組んだりする時間が確保されない。 ○解き方や考え方を説明することが苦手である。		○書くことの絶対量を軽減し、練習量の確保につなげる。 ○類似問題に取り組ませることで考えを応用したり、繰り返し使ったりして、自分の考えとして説明できるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルで間違えたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		60.8%	65.0%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		60.8%	65.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

5年	【目指す授業】	問題解決を通して達成感を感じられる授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○学習内容の理解に時間がかかる児童が多い。 ○計算ができて、解き方を説明したり、立式決定について筋道を立てて考えたりするのが苦手な児童が多い。		○言葉や公式を活用しながら、簡単に計算ができる方法を使って解くことができるようにする。 ○説明の仕方を知ったり、数直線図などを利用して、自分の考えをまとめられるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルで間違えたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		57.3%	60.0%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		50.0%	55.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

6年	【目指す授業】	数学的な見方、考え方を働かせ、すすんで学ぶ授業			
	児童の実態・課題		具体的な手だて		
	○既習事項の定着が不十分である。 ○問題の意図を読み取ることや、図や式で考えを表現することを苦手とする児童が多い。		○基礎的な学習の復習において、朝学習等を活用して行う。 ○図や表を活用して内容を整理し、考えを表現する機会を増やす。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルで間違えたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		51.7%	60.0%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		56.1%	65.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立小中一貫校大南学園第四中学校

1年	【目指す授業】	学習したことから、語彙・知識を広げる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字学習については、他学年と比較しても、繰り返し練習や間違い直しなどを意識して取り組んでいる。漢字の意味や類義語・対義語などを意識すれば、より効果的・効率的に学習できると考える。		○授業の中で、機を捉えて、語彙が広がるような発問をしていく。漢字小テスト等で、知っている類義語：対義語も書くように促す。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。		54.0%	65%	%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

2年	【目指す授業】	間違いをそのままにしない授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○定期テスト・漢字小テストなどの事前の練習は、繰り返し取り組んでいる生徒が多いが、事後の間違いを確認して訂正している生徒が少ない。取り組みやすい漢字学習から習慣を身に付けたい。		○漢字小テストの、間違えた漢字を繰り返し練習させ、提出させて評価の材料とする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルでまちがえたときは、まちがえた漢字を選んで、特に練習している。		54.6%	70%	%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

3年	【目指す授業】	文章を読んで自分の意見を根拠を踏まえて伝えられる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○国語に関して得意不得意の個人差が非常にある。特に自らの考えに自信をもてず、他者に伝えることを苦手とする生徒が多い。また、文章を読んでも自分の考えの根拠を見つけられない生徒も多く見受けられる。		○ワークシートの課題等、自らの考えを発表する場面を全体のみでなく、少人数グループで行う。また、時間を指定して、2人1組または少人数グループで課題に取り組ませるようにする。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		52.7%	%	%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

令和5年度授業改善推進プラン【数学】

学校名 武蔵村山市立小中一貫校大南学園第四中学校

1年	【目指す授業】	基礎・基本を身につけさせ、次の授業の理解につなげる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○数学に苦手意識を持っている生徒が30%を超えており、小学校の算数の段階で躓いてしまっている生徒もいる。		○問題を解く上での先行オーガナイザーを重要視して授業を組み立てる。生徒の理解度が低い場合は授業進度にこだわりすぎず、臨機応援に復習問題を取り入れる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	数学の学習はどのくらい得意ですか。		67%	75%	%
	自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。		46%	55%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

2年	【目指す授業】	生徒同士の教え合いを通して、学習内容の理解を深める。			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○積極的に学習をする生徒が多いが、中には分からなくなると、考えることを諦めてしまう生徒がいる。		○問題を解くときに、まずは自分で解き、わからなかったら教えてもらい、逆にわからない人に教えてあげることで学習内容の理解を深める。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	他の人と相談して、考えを深めるようにしている。		58.8%	60%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		45.9%	50%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

3年	【目指す授業】	問題に対して多様な考え方で解決できる			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○簡単な計算問題については、意欲的に取り組むが、文章題やグラフ等の問題については、手が止まってしまう生徒が見受けられる。		○授業の中で、1つの解法だけではなく、多様な解法で問題を解決させる。また、生徒同士で自分の考えを数学の言葉を用いて説明し合う時間を設ける。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		47.3%	57%	%
	数学で学習した言葉を使って自分の考えを説明している。		61.9%	71%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第一中学校

1年	【目指す授業】	読解力の向上			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○本を読まない生徒が多く、読解力も低い。		○1か月に1度は授業を図書室で実施し、ブックトークなどをして本に親しむ環境をつくる。 ○説明的文章と文学的文章の読み取りを毎学期実施する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	(1) 本を1か月に2冊以上は読んでいる。		20%	40%	%
	(2) 文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる		45%	60%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

2年	【目指す授業】	基礎学力の定着			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○語彙力が低く、正確な読み取りができない。		○漢字テストを定期的実施する。 ○説明的文章と文学的文章の読み取りを毎学期実施する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	(1) 漢字を何度もくり返し書いて覚えている。		72%	80%	%
	(5) 文章を理解できるように、大切だと思った部分や疑問に思った部分に線を引きながら読んでいる。		67%	70%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

3年	【目指す授業】	自分が理解したことを、音声や文字で表現できる生徒を育成する授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○「国語の授業が分かる」と答えた生徒は89.2ポイントであるのに対し、「国語の学習が得意」と答えた生徒は68.7ポイントであった。 ○学習の進め方に関しては、「自分の考えを積極的に伝えようとする姿勢」や「漢字の部首の意味や言葉どうしを関連づけた学習」についてポイントが低くなった。		○授業の中で話し合い活動や意見交換の場を設けて、自分の考えを表出する機会を増やす。 ○漢字や言葉の学習を行う際は、意味や関連づけを意識した指導を行う。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている		38.6%	48.6%	%
	漢字の部首の意味も考えながら覚えている		40.9%	50.9%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

令和5年度授業改善推進プラン【数学】

学校名 武蔵村山市立第一中学校

1年	【目指す授業】	生徒が教え合うことで、考えを深めて基礎・基本を身に付けられる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○主体的に取り組んでいるが、基本的な計算が身に付いていない生徒がいる。 ○文章問題の内容を理解する力が乏しい。		○計算の小テストを行う（30問7分間） ○問題の内容を理解するための手順を明確化		
	評価指標		6月	目標値	2月
	確実にできるようになるまで、くり返し練習している。		70.8%	75%	%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

2年	【目指す授業】	基礎的な項目を重視し、目標に向けて協力し合いながら努力ができる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○主体的に取り組む意欲が低い生徒が多い。 ○基本的な知識・技能が身につけていない生徒が多い。		○朝学習などで、基本的な内容の反復練習を行う。 ○教え合いながら問題演習を行う時間を設ける。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	確実にできるようになるまで、くり返し練習している。		55%	60%	%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

3年	【目指す授業】	基礎・基本の習得を目指し、生徒が意欲的に取り組める授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○基本的な計算が身に付いていない生徒がいる。 ○説明する課題に対して考察していく力が弱い。		○朝学習で、基本的な学習内容の振り返りを行う。 ○		
	評価指標		6月	目標値	2月
	数学で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。		60.8%	65%	%
			%	%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン（特別支援学級）

武蔵村山市立第一中学校 I 組（知的障害特別支援学級）

目指す授業 ○ 基礎的な内容を理解させる。 ○ 視覚や聴覚の情報を重視し、繰り返しによる定着を図る。 ○ 考えを自分の言葉で表現できるようにする。			
教科	① 生徒の実態・課題	② 授業改善の取組	③ 取組結果
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の概念を理解していない。 ・話を最後まで聞けない。 ・漢字の読み書きができない。 ・はっきりと発声することができない。 ・テーマに沿った作文を書くことができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図や写真、ネットの画像や動画を活用し、動作等取り入れ、具体的に理解させる。 ・話をきちんと聞き取る練習をさせる。 ・漢字検定試験等を活用し、練習させる。漢字の筆順、熟語の意味の理解を丁寧に行う。 ・出来事を発表させる。音読をさせる。 ・記述する内容を言わせたり、まとめさせたりしながら、読み手にわかりやすく書く練習をさせる。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数を正確に効率よく数えることができない。 ・単位の意味を理解していない。 ・定規の目盛りを読む、直線を引くことができない。 ・文章題が解けない。 ・時間の概念を理解していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物をきちんと数えさせる。5ずつ、10ずつ数えてまとめさせる。 ・何に対する単位かをきちんと学習させる。単位換算表を活用できるようにする。 ・目盛りの意味を理解させ、きちんと線をひく練習をさせる。 ・文章のキーワードに注目させ、何を問われているのか、加減乗除のどれを使うかを判断させる。 ・時間の帯に行動を記録させて、時間の長さや24時間の意味を理解させる。 	

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第三中学校

1年	【目指す授業】	語彙力を身に付け、自分の考えを表現できる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○中学校の勉強にだんだん慣れてきてはいるが、まだ勉強方法が確立していない生徒も見受けられる。音読を中心とした家庭学習を定着させていきたい。		○漢字のワークを使い、部首についても説明していく。また、読み取ったことを説明する場面を適宜設定する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	漢字の部首の意味も考えながら覚えている。		48.5%	55%	%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		54.5%	60%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

2年	【目指す授業】	話し合いを通して読解力と語彙力を身に付けられる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○意欲的に授業に取り組んでいる様子が見られる。漢字学習にもしっかり練習しているが、漢字の部首や意味、熟語などを考えない生徒もいる。		○漢字のワークを使って似た漢字などの解説を加えたり、単元ごとの意味調べの学習時間を増やす。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	漢字の部首の意味も考えながら覚えている。		51.4%	60%	%
	似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。		51.4%	60%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

3年	【目指す授業】	語彙力を身に付け、読解に生かせる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○積極的に取り組める生徒が増えてきている。さらに漢字を含めた書く力と、語彙を増やして読解力を付けていきたい。		○漢字のワークを使い、部首についても説明していく。また、単元ごとの意味調べなどを通して語彙を増やし、類義語・対義語を押さえていく。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	漢字の部首の意味も考えながら覚えている。		29%	40%	%
	似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。		36%	40%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

令和5年度授業改善推進プラン【数学】

学校名 武蔵村山市立第三中学校

1年	【目指す授業】	生徒一人一人の表現力を高める授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○教わった通りの方法で解を導き出そうとする。遠回りすることを避けず、自分の意見を他者に説明する力を養っていく必要がある。		○章や節の導入やまとめで、同じ問題に対して複数の解法を考えさせ、話し合いをさせる。その際に、図や表、グラフを使うなど、視覚的な工夫を促す。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		46.5%	65.0%	%
	数学で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。		73.7%	80.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

2年	【目指す授業】	生徒の言葉を練り上げる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○連立方程式の文章問題を解く際に、図や表に表して解く生徒が少なく、頭の中で計算しようとする生徒が多く見受けられる。		○数学を使った言葉や図や表を使って説明するペアワークやワークシートを用いて授業を行う。また、図や表へ穴埋めする問題の演習などを実施する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		48.6%	65.0%	%
	数学で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。		70.8%	80.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

3年	【目指す授業】	解ければよいから、説明することができるへ転換する授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○計算問題を解く際に、途中式を書かず、解があれば良いと考えている生徒が見受けられる。		○解を求めることがゴールではなく、なぜその解になったかを説明することができることをゴールにし、説明する際に途中式の必要性に気付かせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		55.0%	65.0%	%
	数学で学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。		69.0%	80.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

令和5年度授業改善推進プラン【国語】

学校名 武蔵村山市立第五中学校

1年	【目指す授業】	基本的語彙力や基本となる文型・話型を身に付け、自分の考えを表現する授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字の繰り返し書くなど形と音として覚えようとしているが部首や組み立てなど意味として覚えることは不十分であった。また、文章読解においては自分の中での理解や解釈にとどまり、考えを広げたり深めたりすることはできていない。		○新出漢字の学習の際に、部首や熟語、類義語や対義語も併せて指導を行う。また、文章読解の学習の際に、登場人物の心情や根拠と筆者の主張を各自で文章にまとめさせたり話し合わせたりして、考えを広げたり深めたりさせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	漢字の部首の意味も考えながら覚えている。		34.2%	50.0%	%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		42.6%	60.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

2年	【目指す授業】	文章を読み、自ら課題を設定し解決する力を育成する。			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○漢字の読みとりの力はあるが、書きとりの力は不十分である。また、文章を読み、自ら課題を立て考えることを苦手としており、読みを深めることはできてない。		○テキストや教材内の漢字等について範囲を指定して学習を促し、小テストや夏休み明けテスト等で定着を図る。また、文章を読む際には目標を明確にし、他者との意見交流を通じて考えを深めさせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	漢字の部首の意味も考えながら覚えている。		31.9%	50%	%
	文章を読んで理解したことや考えたことなどを他の人に説明している。		36.9%	50%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

3年	【目指す授業】	応用的語彙力を高め、自分の意見や考えをアウトプットする能力を育成する。			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○基本的語彙力は高まり、型にはめた文章を作ることができるようになった。自己完結してしまい、それをもって他者と議論したり、話し合ったりすることが苦手な生徒が多い。		○意味調べや漢字練習の際に同義語や対義語を併せて教え、文章に対する自分の意見文を書かせ、それを他者との交流を通じて発表させ、意見や考えを他者に伝えさせる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	似た意味や反対の意味の漢字、使われている熟語などを確かめながら覚えている。		20.1%	50%	%
	文章を読んで、理解したことや考えたことなどを他人に説明している。		31.7%	50%	%
	【評価】	成果と課題			
	○				
	○				

令和5年度授業改善推進プラン【数学】

学校名 武蔵村山市立第五中学校

1年	【目指す授業】	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化した り、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○小学校で身に付けるべき数量や図形の基礎的な知識が確実に身に付いているとは言い難い。基礎の充実を図るとともに、事象を数学化し、数学的に表現、処理する活動につなげていく。		○授業の最初に、一人1台端末を用いて、基礎的な計算や図形の問題に取り組みさせる。必要に応じて、小学校の内容まで遡る。お風呂の水、本棚の組み立て、身の周りの物の形など、様々な事象を数学的に捉えさせ、表現、処理させる。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	学習する言葉や公式は、見なくても言えるようにしている。		21.3%	34.0%	%
	学習した言葉を使って自分の考え方を説明している。		21.9%	34.0%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

2年	【目指す授業】	基礎的な計算力の向上を目指し、基本的な問題を自ら解決できる技能を身につける授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○小学校で身に付けるべき基礎的な四則計算の計算ができていないため、新しい単元に関する問題を解決するのに時間がかかっている。		○百マス計算や自宅学習ファイルを繰り返して取り組み、基礎的な計算力の向上を図り、小テストを適宜実施する。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	テストやドリルでまちがえたときは、似た問題を選んで、特に練習している。		23.8%	35%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		7.5%	18%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

3年	【目指す授業】	学習したことを生かし、自ら考えて、理解することがきる授業			
	生徒の実態・課題		具体的な手だて		
	○小学校及び中学校のこれまでの内容の定着不足が見られる。 ○家庭学習が不十分で定着していないものが多い。		○毎時間授業に関係する既習事項の復習を行う。 ○自主学習ノートでの演習を行い、基礎及び家庭学習の力を養う。		
	評価指標		6月	目標値	2月
	前に同じような問題をやったことがあるかや、今までの学習した問題とどこが違うかを考えている。		22.2%	35%	%
	問題文の内容を図や表、グラフに表して考えている。		11.1%	20%	%
	【評価】	成果と課題			
	○ ○				

第54回 市民文化祭

～市民文化の祭典～ 楽しい催しがいっぱい! (入場自由)

期 間：令和5年11月3日(金・祝)～19日(日)の土・日曜日、祝日
 会 場：さくらホール(武蔵村山市民会館)
 主 催：武蔵村山市文化協会(武蔵村山市民文化祭実行委員会)
 共 催：武蔵村山市教育委員会

	団体名・催し名	11月3日 (金・祝)	4日 (土)	5日 (日)	11日 (土)	12日 (日)	18日 (土)	19日 (日)	会 場
ステ ー ジ	ミュージックフェスティバル	■							大ホ ー ル
	吹奏楽演奏会		■						
	日本舞踊			■					
	フラダンス				■				
	民謡					■			
	ハワイアン						■		
	和太鼓							■	
部 門	村山ベンチャーズ		■						小ホ ー ル
	サーフベンチャーズ		■						
	むさむらギターサークル			■					
	劇団むさしの座				■	■			
	COG(ビッグバンドJAZZ)						■	■	
	あべんちゃーず						■	■	
展 示 部 門	吟剣詩舞							■	展 示 室 会 議 室 展 示 室・遊 戯 室 集 会 室 会 議 室 集 会 室 遊 戯 室
	盆栽展		■	■					
	現代詩画展				■	■			
	美術展				■	■			
	武士団・村山党					■			
	写真展						■	■	
	切り絵展						■	■	
絵手紙展						■	■		
催 事	市民・囲碁大会			■					和室・遊 戯 室
	茶 道					■			和 室

開会式：11月11日(土)午前10時 会場：エントランスホール(2階)
 (内容) 式典、ミニ・アトラクション

問合わせ先 武蔵村山市民文化祭実行委員会 事務局 TEL042-564-3692 須藤
 武蔵村山市教育委員会教育部文化振興課 TEL042-565-1111 (内線652)

第54回 武蔵村山市民文化祭プログラム

ステージ部門

団体名	開催日	開演時間	内 容	会 場
ミュージックフェスティバル	11月3日(金・祝)	正午	市民の演奏団体と小中学生による合唱・器楽・吹奏楽の演奏会	大ホール
吹奏楽演奏会	11月4日(土)	午後6時	武蔵村山ウインドアンサンブル定期演奏会	
日本舞踊	11月5日(日)	午前11時30分	日本舞踊愛好家による発表会	
フラダンス	11月11日(土)	午後1時	フラダンスチームの踊りとハワイアンバンドの生演奏	
民謡	11月12日(日)	午前10時	日本民謡の独唱、合唱、合奏等	
ハワイアン	11月18日(土)	午後1時	フラハラウ オ カレオラニのフラダンス(Lani Kai 生バンド)ティーリーブズの演奏	
和太鼓	11月19日(日)	午後1時	和太鼓連盟所属団体による和太鼓演奏	
村山ベンチャーズ	11月4日(土)	午後2時	ベンチャーズバンド	
サーフベンチャーズ	11月4日(土)	午後6時	ベンチャーズバンド	
むさむらギターサークル	11月5日(日)	午後2時30分	ギター・アンサンブル	
演劇「だれかのために」	11月11日(土)～12日(日)	開演時間 →	11日(土) 11時・午後3時・午後7時 12日(日) 11時・午後3時	
COG(ビッグバンドJAZZ)	11月18日(土)	午後1時30分	クロスオーバー・ジェネレーションLIVE	
あべんちゃーず	11月18日(土)	午後7時	ベンチャーズバンド	
吟剣詩舞	11月19日(日)	午前10時	漢詩、和歌、俳句、現代詩などに符をつけて吟ずる、吟剣詩舞の大会	

展示部門

展示名	開催日	展示時間	内 容	会 場
盆栽展	11月4日(土)～5日(日)	9時～午後5時(土) 9時～午後4時(日)	盆栽、ミニ盆栽、山野草、水石等の展示	展示室
現代詩画展	11月11日(土)～12日(日)	9時～午後5時(土) 9時～午後4時(日)	言葉への思いを添えた詩画展。 朗読会は12日(日)午後2時から	会議室
美術展	11月11日(土)～12日(日)	9時～午後5時(土) 9時～午後4時(日)	サークル・バラ、三ツ藤水彩画同好会、村山墨人会、一般参加作品	展示室 遊戯室
武士団・村山党	11月12日(日)	10時～午後4時	パネル展示・甲冑の展示・パフォーマンス・活動紹介・的当てゲーム等	集会室
写真展	11月18日(土)～19日(日)	9時～午後5時(土) 9時～午後4時(日)	市内グループと一般公募による展示会	会議室
切り絵展	11月18日(土)～19日(日)	9時～午後5時(土) 9時～午後4時(日)	人物、風景を和紙、折り紙等を用いて自由に描く「切り絵」の展示会	集会室
絵手紙展	11月18日(土)～19日(日)	9時～午後5時(土) 9時～午後4時(日)	一期一会の人の輪をつなぐ、深い味わいのある「絵手紙」の展示会	遊戯室

催事部門

催事名	開催日	開催時間	内 容	会 場
市民・囲碁大会	11月5日(日)	受付:正午 開始:0時30分	名人戦、有段戦、初級戦。 参加費:大人500円、子供100円	和室 遊戯室
茶 道	11月12日(日)	午前10時～午後3時	一服のお茶とお菓子で、心静かなひと時をお過ごしください(参加無料)	和室

令和5年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合
の開催結果について

- 1 開催日 令和5年9月10日(日)
- 2 会場 総合運動公園運動場(第1・第3運動場)及び総合体育館
- 3 開会式 午前9時30分から 総合運動公園運動場(第3運動場)
- 4 野球教室 開催時間 午前9時50分から午前11時20分まで
開催場所 総合運動公園運動場(第1運動場)
講師 伊東勤氏・清水雅治氏
参加人数 153人
- 4 親善試合 開催時間 午後0時30分から(試合は0時45分開始)
開催場所 総合運動公園運動場(第3運動場)
始球式 投手:教育長 打者:清水雅治氏
参加人数 39人(少年チーム19人・古希チーム20人)
試合結果

チーム名	一	二	三	四	五	六	七	計
武蔵村山 古希連合	0	1	0	3	0	-	-	4
オール武蔵村山 少年野球チーム	7	2	0	1	×	-	-	10

※試合時間1時間20分。規定により打ち切り

- 5 講演会 開催時間 午後3時から(開場午後2時30分)
開催場所 総合体育館第二・第三体育室
講師 伊東勤氏・清水雅治氏
講演テーマ WBC世界一「憧れの侍たち」
参加人数 189人

令和5年度少年少女スポーツ大会
第40回少年少女サッカー大会の開催について

- 1 主 催 武蔵村山市教育委員会
- 2 主 管 武蔵村山市サッカー協会
- 3 協 力 武蔵村山市スポーツ推進委員協議会
- 4 開 催 日 令和5年11月18日(土) 小雨決行
(中止決定は午前6時) ※予備日は11月19日(日)
- 5 会 場 総合運動公園運動場(第1運動場・第2運動場)
- 6 開 会 式 令和5年11月18日(土) 午前9時(第2運動場)
- 7 試合開始 午前10時
- 8 登録人員 選手8人以上とする。
- 9 参加資格 (1) 市内に在学している小学校4～6年生で保護者の許可を得ている者。
(2) 1チームにつき、成人の責任者が必ず1人以上引率しなければならない。
(3) 同一選手を複数のチームに登録することはできない。
- 10 部 門 男子の部・女子の部(混合チームは男子の部とする。)
- 11 試合時間 10分ハーフ、ハーフタイム5分とする。
ただし、12 試合方法(2)及び(3)の場合は、15分(ハーフタイムなし)とする。
- 12 試合方法 (1) 原則として、トーナメント方式で行う。ただし、(3)及び(4)の場合を除く。
(2) (1)の場合において、当日初めて試合に出場するチームが試合をするとき、その試合で負けたチームは、その他の当日初めて試合に出場し、その試合で負けたチームと試合を行う。この場合、試

合時間については、15分（ハーフタイムなし）とする。

(3) 単一部門での参加チームが5チーム以下の場合、トーナメント方式で行わず、参加チームの総当たりによるリーグ戦で順位を決定する。この場合、試合時間については、15分（ハーフタイムなし）とする。

(4) 単一部門での参加チームが9チーム以下の場合、参加チームを2つ又は3つのリーグに分け、予選リーグを行い、各予選リーグ1位のチームは決勝戦又は決勝トーナメントに進出する。3つのリーグに分かれた場合、各予選リーグ2位の3チームから1チームが決勝トーナメントに進出する。その決定方法は、各予選リーグでの点数が一番高いチームとする。

なお、点数が同じ場合は、得失点差、総得点、ジャンケンの順で決定する。

(5) リーグ戦の順位は、勝ちを3点、引き分けを1点、負けを0点として計算し、決定する。

なお、点数が同じ場合は、得失点差、総得点、直接対決の結果、ジャンケンの順で決定する。

- | | | |
|----|--------------|--|
| 13 | 申込期限 | 令和5年10月13日（金）
（指定の申込用紙をスポーツ振興課へ提出） |
| 14 | 監督会議
及び抽選 | 令和5年10月27日（金）午後3時から
中部地区会館401会議室で実施 |

図書館除籍資料の無償配布について

1 趣 旨

武蔵村山市立図書館資料廃棄基準(令和3年4月8日施行)に基づき除籍した資料を、市内の公共施設や市民に無償配布し、資料の再活用を図るもの。

2 日時及び対象

- (1) 11月9日(木)及び10日(金)

対象図書：児童書

対 象 者：市内小中学校、児童館等の公共施設、市内幼稚園・保育園

- (2) 11月11日(土)から28日(火)まで

対象図書：一般書及び児童書

対 象 者：市民(在勤・在学者含む)

3 場 所

各図書館

4 配布資料数

合計約4,200冊